

日経平均は4営業日続落。米国市場は休場

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

売買代金は2兆円割れ

昨日の東京市場では、先週末の米国市場では主要指標が下落したことから、日経平均は下落スタートとなった。投資家の押し目買い意欲も強く、ザラ場ではプラス圏に浮上する場面も見られたが、引け値は前週末比▼31円(▼0.1%)の2万7619円と小幅安となって、4営業日続落で引けた。業種別騰落率では、石油(前週末比+1.0%)、鉄鋼(同+0.9%)、鉱業(同+0.8%)が上昇率の上位、陸運(同▼1.4%)、空運(同▼1.1%)が下位である。小動きのなかで売買代金は落ち込み、プライムの売買代金は、1兆9985億円と4月18日以来となる2兆円割れとなった。個別銘柄では、オンラインゲーム会社のネクソンが前週末比+6.6%と買われ、日揮HD(同+4.6%)、日立造船(同+3.1%)、IHIなど重厚長大銘柄が買われた。下落銘柄では、小田急電鉄(前週末比▼3.3%)、京成電鉄(同▼2.7%)、京王電鉄(同▼1.6%)、JR東日本(▼1.6%)など電鉄株が安い。

米国市場は休場

現地5日の米国市場はレーバーデーの祝日で休場。

今日の予定

今朝のドル円は1ドル140.50円台(7時30分現在)で推移している。5日に開催されたOPECプラスの会合では10月の生産は9月より日量10万バレルの減産することで合意と伝わった。今日は、国内では重要なイベントはなく、海外では、8月の米ISM非製造業景況感指数の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/9/5 現在

日経平均	2万7619円
プライム売買代金	1兆9985億円
プライム時価総額	693兆6387億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.5%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/9/5 現在

株価前日比

1	レーザーテック	1.5%
2	日本郵船	0.5%
3	WSCOPE	0.8%
4	商船三井	0.4%
5	ソフトバンクグループ	0.1%
6	東京エレクトロン	0.1%
7	川崎汽船	▼0.2%
8	ファーストリテイリング	▼1.2%
9	トヨタ	▼0.5%
10	メルカリ	▼0.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

